

(問題は四枚です。解答は、別紙の解答用紙に記入してください。)

問題一

次の文章を読んで、後の設問に答えなさい。

アウグステイヌスの名は、その家族名を添えて、アウレリウス・アウグステイヌスと伝えられる。彼自身、自分のことは「アウグステイヌス」とのみ名乗っている。父祖はおそらく三世紀初め、カラカラ帝の頃にはローマ市民権を得ている。畑や果樹園を所有し、ローマ市民としての義務を負い、日々の生活に追われる平民階級の家であった。晩年の回想にあるように、彼は貧しい市民の息子であった。

へ 1 「貧しさ」とは①相対的なもので、実際は家には使用人も複数いて、父パトリキウスはタガステの名士であり市会議員を務めていた。母モニカも、ある程度の資産を持つ同じ平民階級の出身で、パトリキウスに嫁ぎ、二三歳でアウグステイヌスを産んだ。アウグステイヌスにはナウイギウスという弟のほか、のちに修道女となった姉妹がいる。

モニカは熱心なキリスト教徒であったが、パトリキウスは市会議員として町の祭礼の世話役を務める必要もあって、死の直前まで洗礼を受けなかった。アウグステイヌスもまた、のちにキリスト教へ回心するまで洗礼は受けて、当初は教会の洗礼志願者(求道者)に留まり続けた。

自由に教会に入りして説教を聴く機会を持ちながらも、洗礼を受けなかったことには理由がある。彼の関心の中心はラテン語古典に根ざした自由学芸の勉学にあり、これに①秀でた彼は、両親の期待もあって弁論術教授としてのA出世を志していたからである。

故郷タガステの町は内陸の高原地帯にあった。ここで生まれ育ったアウグステイヌスは、一六歳でカルタゴに出るまで海を見たことがなかった。少年期の彼にとつて海とは、ウエルギリウスの古典文学を通して知る想像上の海であった。それは、英雄アエネアスが漂流ののち、カルタゴからローマへと渡っていく道に他ならなかった。

アウグステイヌスの宗教的②素地を涵養したのは、敬虔な母モニカのカトリック・キリスト教の影響であった。しかし、彼の知的精神をめぐんだのは、ローマ帝国の学校教育システムに他ならない。キリスト教帝国となった後も学校での初等教育、中等教育は、帝政初期の非キリスト教ローマ帝国での教養を養う理想がそのまま②踏襲されていた。その中心は、ギリシア・ローマの伝統であった民会や③法廷で雄弁に語る能力を授け、聴衆を説得して支持を得る弁論術の教授、(ア)修辞学教育であった。

アウグステイヌスは、七歳のころ地元タガステの学校に入り、読み・書き・計算を学んだ。そこではラテン語のみならず、古典教養として④必須の外国語であるギリシア語も教えられた。(イ)、ギリシア語は得意ではなかったし、好きでもなかった。幼少時に詰め込まれたギリシア語がどうしてあんなに嫌だったか、自身にも説明がつかないと言っている。

とはいえ、ラテン語の読み書きについてはしっかりと知識を身につけて、aヒンシ分解のほか、③隠喩、換喩等の言い回しの違いや語形と発音の誤りなどを逐一指摘することに抜きんできた才能を見せた。少年アウグステイヌスは、両親のBを一身に担っていた。小土地所有者の貧しい生活から抜け出して、帝国の上層へ連なる唯一の手段は勉学だったからである。父パトリキウスは必死で学資をbクメンして、アウグステイヌスは一三歳の秋、タガステから三〇キロ南、標高一千メートルにある文化的な古都マダウラ(マダウロス)の文法学校に進学することになる。

文法学校では、朗読、修正、解説、評価という観点で、教材としての古典文学が学ばれていた。古代では文学を読むとはまず、しっかり大きな声で正しく文節を区切って朗読することであった。当時の書物はパピルスないし羊皮紙に書き写された写本であったので、その写本に写し誤りがないか諸本を比較し修正する本文批評の学習も必須であった。へ 2、一つひとつの単語の意味を語法や語源にさかのぼって解説し、その単語が置かれた文章を文体の特徴と結びつけて審美的に評価できることが求められた。

そのような文法学校で、アウグステイヌスはウエルギリウスの詩『アエネーイス』に親しんだ。「そこで私は、自分自身が漂泊の身であることを忘れ、アエネアスという人の漂流物語を暗記させられ、恋ゆえに自殺したデイドーの死に涙を流していました」と、後年cシツピツする『告白』という著作のなかで回想している。学校では、(ウ)、主人公の置かれた状況を想定して、その演説を皆の前でdヒロウせよという課題が出された。アウグステイヌスはそんなとき一等賞を取るのが常であった。しかし、彼は単にお行儀のよい優等生ではなく、観劇に夢中になり、劇場へ行くために嘘をついて学校を抜け出すような、教師を手こずらせる生徒であったらしい。

(出村和彦『アウグステイヌス』(岩波新書・二〇一七年一〇月二〇日発行)より)

問一 a d のカタカナを漢字に改めなさい。

(1) 問二 傍線部①④の読み方をひらがなで記しなさい。

問三 空欄へ 1 ～ 2 に入る適切な語を次の中から選び、番号で答えなさい。

- 1 そして
- 2 ただし
- 3 ゆえに
- 4 しかし

問四 波線部①「相対的」の対義語を記しなさい。

問五 空欄 A には、次の「出世」という語句と合わせて四字熟語となる漢字二字の語句が入ります。その意味は、「社会的に高い地位について有名になる」ということですが、どのような語句が入りますか。漢字二字で記しなさい。

問六 波線部②「踏襲」の意味として最もよいものを次の中から選び、番号で答えなさい。

- 1 受け入れて処理すること
- 2 賞をさずけられること
- 3 前人のあとを受けつぐこと
- 4 他から働きを受けること
- 5 信頼されたり承諾したりすること

問七 空欄 (ア) ～ (ウ) に入る適切な語句を次の中から選び、番号で答えなさい。

- 1 ただ
- 2 なお
- 3 たとえば
- 4 ぜひとも
- 5 すなわち
- 6 あるいは

問八 波線部③「隠喩」は「暗喩」とも言うが、その例として正しいのはどれか、次の中から選び、番号で答えなさい。

- 1 堅きこと鉄のごとし。
- 2 彼はライオンのように敵陣に突っ込んだ。
- 3 彼の学生らしい態度に好感を持った。
- 4 頭に霜を置くところからすると、かなり高齢と思われる。
- 5 アクセントからすると、あの人は日本人ではないようだ。

問九 空欄 B には本文で用いられている漢字二字の語句が入ります。その語句を記しなさい。

問題二 次の文章を読んで、後の設問に答えなさい。

とてつもない水害が、日本を襲った。平成に入って以降、最悪の被害状況である。ともかく今は、あらゆる制度をフル活用し、被災された方の心と体が少しでも安らぐことを第一に、できる限りの対応を講じるべきである。

私自身は、たまたま海外出張中であつた。ネットで日本のニュースを確認するたびに被害者の数が増えていく。ひと昔前に比べると、外国で日本に関する情報を得るのは格段に容易になった。とはいえ、スマートフォンを時々追うだけでは実態を捉えにくい。――被害の範囲は西日本に(ア)偏っているようだが、つい先日は北海道でも a ゴウウの被害があつたはず。日本のいたるところで洪水が起こりつつあるのだろうか――

そんな不安を(イ)抱えながら、私はカンファレンス(注1)の会場に向かつた。この会議は、主として欧州の研究者や実務家が集まり、科学と社会の関係をさまざまな角度から幅広く議論する、2年に1度の b モヨオ である。

会場は各国の人々が大勢集まつて熱気を帯びており、多数のセッション(注2)が同時に開かれていた。その時ふと、プログラムを表示する液晶モニターに「世界の水はどこにあるのか?」という文言を見つけた。私は日本が水害が気になっていたこともあり、A な分野だが、このセッションに出てみることにした。

それは世界の水問題について、気象学者や行政官、環境工学の専門家など、数人の識者が登場し、相互に議論するというものだった。内容は(ウ)多岐にわたっていたので、ここで詳細を述べることはできないが、世界における水に関する課題は、基本的に、その「不足」にあるということ、私は改めて思い知らされた。

一人のプレゼンター(注3)は、1984年から2015年の間に、実に9万平方キロメートルの地表の水域が、世界から消失したと訴えていた。日本でも以前、干上がってしまった湖を題材にしたテレビCMが放映されていたことがある。

最も有名なケースは「アラル海」だろう。この湖は、中央アジアのカザフスタンとウズベキスタンをまたぎ、かつては琵琶湖の約100倍、世界で4番目の湖水面積を誇っていた。(ア)旧ソ連時代の「自然改造」の号令のもと、アラル海に流れ込む川の水を綿花の栽培に使つたため、今では10分の1程度の面積にまで縮小してしまつている。

実際、アラル海の自然破壊の実態は衝撃的だ。朽ち果てた船が、砂漠化した元・湖底に埋まつている姿を見れば、誰もが①息をのむだろう。

(2) 同様の湖水の消失は世界中で起きており、その原因としては、アラル海のような人為的な開発に起因することが多いが、地球温暖化の影響も指摘されはじめている。

このような話を聞くと私たちは、深刻な気持ちになると同時に、どこかひとごとと考えてしまいう面がある。しかし、水の問題はさまざまな問題とつながっており、無縁な人など地球上にはいないと考えるべきだ。

⑥ Tシャツを1枚作るために、どれだけの水が必要だろうか。ある試算では、2900リットルも水が、原料の綿を育てるために消費されるという。従って、私たちが安価な綿で作られたTシャツを途上国から1枚輸入することは、見方を変えれば、その国の淡水を約3トン輸入することと等価なのだ。

⑦ これは、食物にもあてはまる。小麦を1キログラム生産するには2千リットル、米ならばその約2倍の水が必要だ。さらに牛肉の場合は穀物を餌としてウシに与えるため、小麦の時の約10倍の水を消費する。

このように、「その輸入品を、仮に自国で生産するならば、必要になると推定される水」のことを、バーチャル・ウォーターと呼ぶ。ロンドン大学のアラン名誉教授が「ドウニユウ」した概念である。

d シュウチの通り、日本は食料の海外依存度が高いので、バーチャル・ウォーターの輸入量も多い。⑧ 私たちは、遠い海の方の国々の貴重な水を大量に買い入れることで、その地域の自然的また社会的な環境に影響を与えているのだ。⑨ このことは、私たちの生活が、海外の水源の量や質に大いに依存していることを、示している。

この水問題のセッションでは、もう一人の話者が、「20世紀の戦争が石油を巡る戦いだったとすれば、今世紀は水を巡る戦いになるだろう」という警告を紹介していた。

地球上の水の量は一定だが、淡水は2・5%しかない。実際に使えるのはさらに少なく、地表に近い水だけであり、全体の1万分の1程度だ。限られた淡水資源を、増加する人口が奪い合い、経済成長に伴って自然環境の開発が進み、その上に気候変動が重なったらどうなるのか。

日本を含む世界各地における洪水(エ)頻発と、アラル海をはじめとする湖水の消失は、直接の関係はない。しかし「B」に見ればいずれも、この水の惑星において、水循環の大きな「C」が狂い始めていることの表れ、と捉えることは可能ではないか。

そう考えると恐ろしくもなる。しかし希望もある。アラル海の水が、関係者の努力により、一部ではあるが回復しつつあるというのだ。これには世界銀行の「e ユウシ」による堤防の建設などが(オ)奏功しているという。

私たちは、大きな困難に直面するとしばしば、現実から逃避したくなる。だが⑩問題の原因にしっかりと向き合い、知恵を絞れば、未来は変わり始める。

絶望するのは、後回しで良い。

(注1) カンファレンス conference 会議。協議会。

(注2) セッション session 会期。会議。会合。(特定の活動の)集まり。

(注3) プレゼンター presenter (学会などの)発表者。

(神里達博「世界の水問題」(朝日新聞2018.7.20)より)

問一 a く e のカタカナを漢字に改めなさい。(e は、「銀行からユウシを受ける」「不正ユウシ」などのように用いる。)

問二 傍線部(ア)く(オ)の読み方をひらがなで記しなさい。

問三 文章中の空欄(④)に入れるべき最も適切な語を次の語群の中から選び、番号で答えなさい。

- 1 そして 2 そこで 3 しかし

問四 文章中の空欄(⑥)・(⑦)・(⑧)・(⑨)に入れるべき最も適切な語を次の語群の中から選び、番号で答えなさい。

- 1 一層 2 当然 3 つまり 4 まして 5 さらに 6 ますます 7 たとえば

問五 空欄Aに入れるべき最も適切な語句を次の中から選び、番号で答えなさい。

- 1 可及的 2 官僚的 3 無分別 4 不案内 5 非常識

問六 波線部①「息をのむ」とあるが、どのような意味か、次の中から適切なものを一つ選び、番号で答えなさい。

- 1 有力者の影響や支援などが間近に及ぶ。
2 驚きや恐れのために一瞬息を止める。
3 苦しくてものが続げられなくなる。
4 激しい情動や緊張のために息苦しくなる。
5 息切れがして、呼吸が十分にできなくなる。

問七 空欄Bに入れるべき最も適切な言葉を次の中から選び、番号で答えなさい。

- 1 マクロ 2 ミクロ 3 ソフト 4 シンプル 5 ワイルド

問八 空欄 C に入れるべき最も適切な語句を次の中から選び、番号で答えなさい。

- 1 車輪
- 2 歯車
- 3 拍車
- 4 琴線
- 5 水車

問九 波線部②「問題の原因にしっかりと向き合い、知恵を絞れば、未来は変わり始める。」とあるが、「湖水の消失」について現在考えられる原因を二つ指摘しなさい。ただし、いずれも本文中の八字以内の語句とします。

問題三

次の傍線部①・②は漢字に直し、③④⑤の漢字は読み方をひらがなで記しなさい。

技術者を①コウグウする。

②ゲキヤクとは、使い方・使用量などを誤ると生命にかかわる医薬品のことである。

③我執を捨てることこそ肝要かと思われま

す。プラトンはアリストテレスとともにギリシア哲学の④双璧をなす。

人格を⑤陶冶する。